

## 2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	建築プログラミング小委員会	主 査 名：柳父 行二 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築経済委員会	委員長名：古阪秀三 主 査 名：
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	建築のプログラミング(設計条件の検討・設定)に関わる理論や、そこで用いる手法の確立に向けた事例収集、調査研究の実施を目的とする。 (2008 年度活動計画) 1. 事例研究調査と整理 2. 拡大研究会(事例調査)の開催 3. 学会内外関連組織との連携 4. 会員への情報発信	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 柳父行二(大阪ガス)、山田哲弥(清水建設)、柳澤要(千葉大学)、井上誠(福山大学)、岡田昭彦(NTT ファシリティーズ)、毛谷村英治(宮城大学)、五代正哉(多摩医療 PFI)、佐藤浩也(リンク&モチベーション)、藤本秀一(建築研究所)、増村昭二(日本設計)、溝上裕二(ジョンソンコントロール)、松下聡(福井大学)、末廣健一(山陽学園短期大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2008 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：有り 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/keizai/prg/">http://news-sv.aij.or.jp/keizai/prg/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	建築プログラミング公開研究会「ユーザーグループによるプログラミング事例」 (5/23, 京都機械工具, 参加者 12 名) (配布資料)「研究会質問集」
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. ほぼ計画通り：これまでの事例研究会の整理(記録作成等) プログラミングでもたらされる効果の連鎖構造の抽出、検討。 2. 計画通り：公開研究会の開催(5/23)。 3. 計画通り：建築企画小委員会との連携(研究参加、来年度体制等の協議) 4. 計画遅延： ホームページの未更新。
委員会活動の問題点 ・課題	・ユーザー主導プログラミング事例での価値観を整理し年次大会に発表予定。 ・情報発信内容の取材先への確認、HP の更新が滞りがちで、情報発信が停滞。 ・委員間(発注側と受注側)で意識のズレがあり、議論が迷走しがちだが、課題が明確になり有益。次期の小委員会テーマに繋がった。

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。